

平成22年度第15回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録

日時・場所：平成23年2月1日（火）15：30～17：05 評議会室

出席者：曾我理事長、川口副理事長、大田理事、菊池理事、仁連理事
井筒理事、横山理事、荒川監事、奥村監事

事務局：堀部事務局次長、坪田総務グループ統括、小島財務グループ統括、
高田経営戦略グループ統括、杉野学生・就職支援グループ統括、
藤野教務グループ統括、郡田図書情報グループ統括、
久保田地域貢献研究推進グループ統括、山田副参事、小椋副主幹

平成22年度第14回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録（案）について、
原案のとおり承認された。

議 題

（報告事項）

- 1 平成23年度私費外国人留学生特別選抜試験の合格状況について
藤野統括より資料に基づき報告があった。
- 2 平成22年度卒業・修了予定者の進路・就職内定状況等について
杉野統括より資料に基づき報告があった。本学の内定状況については、12月1日時点でも全国平均より低いが、9月以降の求人数は、昨年と同時期と比べほぼ倍増している。これは、企業側の業績が回復傾向にあり追加で求人されているものと考えられるので、学生に対してはあきらめずに就職活動をするよう指導しているとのことであった。
- 3 平成22年度学位記授与式の実施について
杉野統括より資料に基づき報告があった。なお、平成23年度の入学式については、4月5日（火）ひこね市文化プラザで行われる予定である。

（その他）

- 1 平成23年度年度計画の素案について
副理事長および各理事より資料に基づき説明があった。英語による研究者情報の発信や、教員の業績評価、任期制・年俸制の導入による給与の優遇措置等について意見の交換が行われた。

（その他質疑）

私費外国人留学生の授業料について、本国に在住する保護者の所得に関わらず、学生本人の所得等を勘案して減免を行っているとのことであるが、減免を行う場合は、保護者の所得と併せて行うべきであるとの意見があり、本国での保護者の所得について確認する方法、仕組みについて確認を行うとの回答があった。